

昭和59年度修了生修士論文一覧

外国歴史教科書における日本の取扱い —特に近・現代史を中心にして—	池井芳則
社会科からみた中等学校における修学旅行	上松達三
外国為替を中心とした経済教育 —教材化のための一考察—	大倉泰裕
基本的人権の学習における「新しい人権」の取扱い —「知る権利」を中心として—	金子巧
高等学校「政治・経済」における国民主権の取扱い	亀井慶二
高等学校日本史における土地制度史の取扱い —「墾田法」を中心とした 「律令国家」へのアプローチ—	田仲正明
社会科教育における「社会認識」に関する一考察 —その基本的諸問題をめぐって—	日向野研二
国史教科書を通してみた戦前の女子教育	望月祐子
社会科における郷土教材の研究 —間宮林蔵を中心として—	増田義雄
明治後期の実業学校における地理学習	加治由味子
高等学校「現代社会」における宗教の取扱い —宗教社会的アプローチについて—	村野光則
公民的資質を養うための経済教育 —高等学校「政治・経済」を中心として—	小畑聡
明治後期における統合教授論の成立・展開とその特質 —牧口「郷土科論」への史的検討—	木村健一郎
政治的中立性の保たれた授業についての一考察 —憲法9条を教材として—	山崎隆